

# 一般質問

4人の議員が町政について質問しました。

一般質問は、議員が町行政全般にわたり、町長を始めとする執行機関に対して行う質問のことです。

● 内田 保

- ・ 子育て、保育、学校教育政策の充実のために
- ・ 町民が安心して暮らし続ける交通手段等の町づくりについて
- ・ 2050年までにカーボンゼロ宣言を

● 森 宏子

- ・ 内海海岸道路の一方通行について

● 山本 優作

- ・ コロナウイルス感染対策の緩和に向けて
- ・ 中学生と地域のつながりについて

● 服部 光男

- ・ 「なったらいいな こんな町」

移動困難者へ買い物や交通サービスの検討を  
移動販売や地域の交通サービス等の検討を進めたい



うちだ たもつ  
内田 保 議員

子育て・保育・学校教育政策  
の充実のために

**問** 令和5年度も保育所・小中学校の給食費無償化を続けてほしいとの声が強いです。今後の無償化継続の願いにどのように答えていくのか。

**答** 大岩厚生部長

新型コロナウイルス感染症対策のための交付金を活用したもので継続は考えていない。しかし、物価高騰による材料費上昇に伴う給食費の値上げについては、令和5年度は町で負担する予定である。

**問** 保育所の0歳から2歳児までの世帯の給食費は、控除されなかったが、控除すべきではなかったのか。

**答** 大岩厚生部長

0歳から2歳児は給食費を含めての保育料となっているため、無償化の対象とはしなかった。

**問** 0歳児は子ども3人に保育士1人、1から2歳児は6人に1人、3歳児は20人に1人、4から5歳児は30に1人では、とても大変である。町としてのサポート体制はどのように考えているか。

**答** 大岩厚生部長

町独自の基準については定めていないが、国の基準以上の手厚い保育体制をとっている。

**問** 各地区の学童保育の施設の拡充が必要である。定員拡張のための工夫等、どのように考えているか。

**答** 大岩厚生部長

内海の学童保育には、令和5年度は20人の定員に21人の申込者があり、全員受け入れる予定である。夏休みだけの利用は、内海の児童クラブは定員に達しており、豊浜の児童クラブを案内する予定である。今後は利用希望を把握し、対応できる施設

を探するなど検討していく。

町民が安心して暮らし続けられる町づくりを

**問** 外出等が不便な町民に、町として地域のボランティアや各区の組織に、許可・登録不要の地域交通サービスの検討を進めることが必要ではないか。

**答** 高田総務部長

路線バスの走っていない交通空白地や自宅からバス停までの移動が困難な方に対して、ボランティアや地域の助け合い活動による交通サービスの提供は有効である。今後、様々な団体に移動手段を確保するための許可・登録を要しないモデル事業を紹介し意欲ある実施主体の方と検討していく。

**問** 豊浜地区の住民から、移動販売車等のサービスを実施して欲しいという要望がある。町としてどのように考えるか。

**答** 大岩厚生部長

町内で移動販売をしている業者等と連携して、既存の配食サービスやボランティアによる買い物代行などの施策を組み合わせ、買い物に困っている高齢者への支援や地域の見守りネットワークを強化したい。

カーボンゼロに向けた地球温暖化対策の実施を

**問** 県の補助を利用して自宅屋根・駐車場等への太陽光発電設備、断熱改修等の工事・購入経費の一部補助を導入すべきではないか。

**答** 大岩厚生部長

本町としても温室効果ガスを削減し、地球温暖化防止に寄与することを目的とする補助を、今後導入すべきと考えている。



▲地球温暖化対策の  
一歩は家庭から!